

スモールスタートからのアカデミッククラウド導入事例

九州大学

大学院システム情報科学研究所

准教授

日下部 茂

アブストラクト

クラウドコンピューティングの導入に際し、導入における様々な問題を解決した上で全面導入を目指すアプローチが考えられる一方、小さく始めて大きく育てるアプローチも考えられる。

本発表では、教育および研究の双方を指向した大学において、小規模での限定的なパイロット導入から開始し、実際の導入で得られた知見と様々な状況の変化を勘案し、適宜方向性を検討しながら発展させたクラウドコンピューティングの導入事例について紹介する。

講演者プロフィール

◆ 略歴

1991年4月 九州大学 大学院総合理工学研究科 助手

1998年10月 九州大学 大学院システム情報科学研究所 助教授

2007年4月 九州大学 大学院システム情報科学研究所 准教授

◆ 研究分野、研究テーマ

効率的なソフトウェアと効率的なソフトウェア開発法の研究

(マルチスレッド処理の速度向上と省エネルギー化、規律あるソフトウェア開発プロセスと形式手法、応用行動分析に基づくソフトウェア開発改善、クラウドコンピューティングプラットフォーム活用)

◆ その他（所属学会、受賞歴、著書など）

・所属学会:ソフトウェア技術者協会、情報処理学会、電子情報通信学会、応用行動分析学会、ACM、IEEE-CS

